

京都第一赤十字病院で固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査歴のある
患者様・ご家族様の皆様へ

固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査の有用性に関する 後ろ向き検討調査へのご協力のお願い

今回、京都第一赤十字病院は、固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査（遺伝子パネル検査）の有用性に関する後ろ向き検討を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

2019 年以降固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査が保険診療において施行されておりますが、まだその有用性や問題点については不明確な点があります。本研究では当院における検査の有用性を検証すること、また問題点があればそれを明らかにすることを目的としています。また改善すべき問題点があれば、今後の治療法に役立つことが期待されます。

研究の方法

対象となる方について

固形癌と診断され、2020 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに京都第一赤十字病院において固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査を受けた患者様が対象となります。

研究期間:倫理審査委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日

方法

本研究は、過去に当院において固形癌に対するがん包括ゲノムプロファイリング検査を受けた患者様の診療記録から病歴、検査結果、治療経過などを抽出し、後ろ向きに検討する観察研究です。

下記のような項目を検討します。

- ① 患者基本情報:性別、年齢、癌腫、治療歴、併存疾患、内服歴、血液検査所見、画像所見など。
- ② 有用性として、検査で指摘された遺伝子変異、治療到達率、全生存期間など。

研究に用いる試料・情報について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される

場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。研究に参加しない場合でも不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記の本研究実施担当者までご連絡をお願いします。

本研究は、当院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

研究組織

本研究責任者

京都第一赤十字病院

臨床腫瘍部 部長 内匠千恵子

お問い合わせ先

京都第一赤十字病院

第一消化器内科 臨床腫瘍部 医長 吉田寿一郎

電話:075-561-1121(代表)